

編集発行/日本大道芸・大道芸の会 光田 憲雄

(daidogeiki@kib.biglobe.ne.jp) http:// daidougei.seesaa.net

# 江戸の物売りと大道芸

日時：三月一日(日)

十一時〇〇分〜十二時三十分

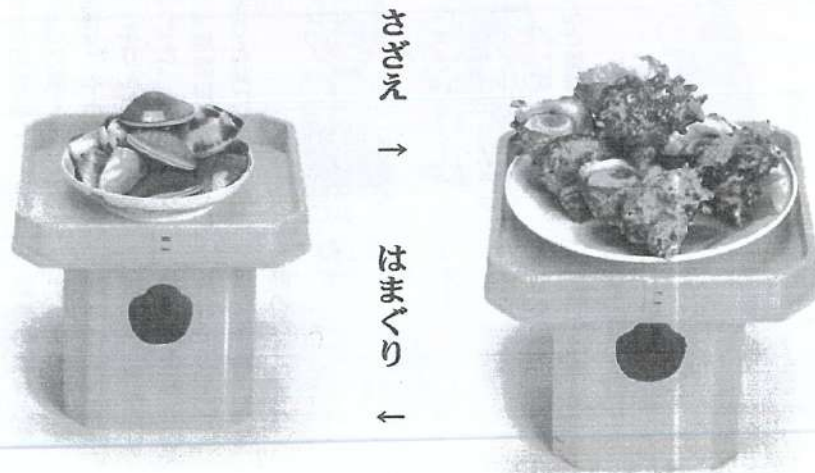
十二時三〇分〜十三時〇〇分

場所：深川江戸資料館 火の見櫓下

地下鉄清澄白河下車 徒歩三分

料金：大人四百円 小中学生五十円

中学生以下の方は 大人と同伴で入場をお願いします



hamaguri → hamaguri ← umagaki

## 演目

◎季節の物売り解説

◎日常に来た物売り

浅利売り

かりんと売り

飴売り

鑄屋

端布売り

野菜売り

唐辛子売り

煮豆売り

◎大道芸

がまの油売り

玉すだれ

## 上巳(桃)の節句

上に掲げたのは一般に公に開されている「桃の節句」(三月三日)を祝う宮中の飾り物「さざえ」「はまぐり」です。これに「わかさぎ」を加えたものが、江戸の雛祭りの定番でした。

そんな江戸の風俗を偲びながら書かれた『江戸府内絵本風俗往來』(明治三十八年初版)も次のように書いています。

「御得意へ日々来る魚屋は、栄螺、蛤、並びにわかさぎといふ小魚の串に刺して焼きたるは上巳当日の必要なる品にて大繁盛……」

現在では忘れられたワカサギも、宮中では今も食べられています。

何故か明治以降は途絶えのたワカサギですが、売り声狩りでした。今は潮干狩りなど望むべくもありませんが、アマグリを始め貝類が非常に豊富だったそうです。

また桜の見頃も此の頃でした(旧暦三月は晩春初夏に近い)。花人もウキウキし始めました。

花見といえば昔も今も上野の山が名所ですが、大いに違う所があります。当時上野の山一帯は全て寛永寺の境内でしたから音曲禁止、静かに見て回る必要がありました。

その代わり、少し遠いが飛鳥山は、今の上の同様、大変賑やかでした。年寄り子どもは日帰りが難しかったようでした。そんな花見客が泊まる宿もあったようです。

左記は上記同様宮中で公開されている上巳の節句料理(天皇后両名分)の一部の季節ですが、真ん中の二つがワカサギです。

さくらそうやあ さくらそう

苗売りが現れるのも此の頃です

アサガオのおナエやア ユウガオのおナエ ヘチマ アトウガン白ウリの苗

夏にかけて花を咲かせたり実をつけるものの苗を売り始めます。

三月三日で忘れてならないのが、ご当地深川須崎の潮干狩りでした。今は潮干狩りなど望むべくもありませんが、アマグリを始め貝類が非常に豊富だったそうです。

また桜の見頃も此の頃でした(旧暦三月は晩春初夏に近い)。花人もウキウキし始めました。

花見といえば昔も今も上野の山が名所ですが、大いに違う所があります。当時上野の山一帯は全て寛永寺の境内でしたから音曲禁止、静かに見て回る必要がありました。

その代わり、少し遠いが飛鳥山は、今の上の同様、大変賑やかでした。年寄り子どもは日帰りが難しかったようでした。そんな花見客が泊まる宿もあったようです。

現在では忘れられたワカサギも、宮中では今も食べられています。

何故か明治以降は途絶えのたワカサギですが、売り声狩りでした。今は潮干狩りなど望むべくもありませんが、アマグリを始め貝類が非常に豊富だったそうです。

また桜の見頃も此の頃でした(旧暦三月は晩春初夏に近い)。花人もウキウキし始めました。

花見といえば昔も今も上野の山が名所ですが、大いに違う所があります。当時上野の山一帯は全て寛永寺の境内でしたから音曲禁止、静かに見て回る必要がありました。

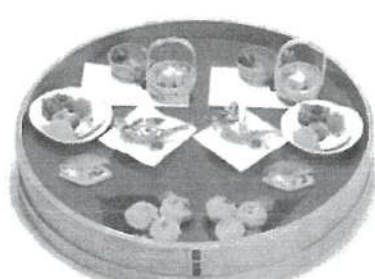
その代わり、少し遠いが飛鳥山は、今の上の同様、大変賑やかでした。年寄り子どもは日帰りが難しかったようでした。そんな花見客が泊まる宿もあったようです。

現在では忘れられたワカサギも、宮中では今も食べられています。

何故か明治以降は途絶えのたワカサギですが、売り声狩りでした。今は潮干狩りなど望むべくもありませんが、アマグリを始め貝類が非常に豊富だったそうです。

また桜の見頃も此の頃でした(旧暦三月は晩春初夏に近い)。花人もウキウキし始めました。

花見といえば昔も今も上野の山が名所ですが、大いに違う所があります。当時上野の山一帯は全て寛永寺の境内でしたから音曲禁止、静かに見て回る必要がありました。



桃の節句 節句料理



現在では忘れられたワカサギも、宮中では今も食べられています。